

(様式3)

会 議 の 要 旨 (議 事 録)

会 議 の 名 称	平成29年度第2回鳥栖市図書館運営協議会		
開 催 日 時	平成30年2月16日 (金) 14:00～15:30	開 催 場 所	鳥栖市立図書館視聴覚室
出 席 者 数	委員 8人 (全員出席) 事務局 6人	傍 聴 人 数	0人
議 題	(1) 平成29年度経過報告について (2) 平成30年度事業計画について (3) 鳥栖市子ども読書活動推進計画について (4) その他報告事項について		
配 布 資 料	平成29年度第2回鳥栖市図書館運営協議会 資料 [内容] ・平成29年度事業経過報告及び今後の予定 ・平成30年度事業計画 ・パブリック・コメントで提出された意見と市の考え方について (鳥栖市子ども読書活動推進計画) ・図書館主催事業チラシ5種類		
所 管 課	(課名) 生涯学習課 図書係 (電話番号) 85-3630		

議 事 録

1 開 会

- 事務局（佐藤課長兼館長）
 - ・全委員出席の報告

2 議 事

- 内野委員長あいさつ
- 委員長により議事進行

議題（１）平成２９年度経過報告について

- 事務局説明
 - ・資料の１～３ページに基づき説明。
- 委員
 - ・移動図書館サービスの実績で、若葉まちづくり推進センターの利用者数や貸出数が突出している理由は何か。
- 事務局
 - ・鳥栖双葉保育園児の利用があったため。積載千冊のうち三分の一程度の児童書であるが非常に喜ばれた。他地区の保育園・幼稚園等にも声をかけたい。
- 委員
 - ・若葉小学校は初のスポット対応で利用し、各学級に３０～４０冊ずつの学級文庫にして毎週月曜日の朝の読書タイムに利用している。今後とも定期的に利用したいと考えており、校長会でも他校に宣伝する。
 - ・他の学校にも波及していくと良い。
 - ・まちづくり推進センターや市民活動センターは、平日は高齢者や育児中の親の利用が多いと思う。それらの施設に広報を依頼して、ボランティア団体と協力してはどうか。
- 事務局
 - ・ぜひ依頼し告知に努めたい。
- 委員
 - ・表中の「配達」とは何のことか。
- 事務局
 - ・施設内にブックトラックの場所の確保が難しいところは、司書があらかじめ選書して箱詰めして持参すること。

○委員

- ・団体貸出との違いは。

●事務局

- ・形態は同じだが、配達して回収まで行う。

○委員

- ・評判はどうか。前が良いとか、今が良いとか。

●事務局

- ・両方ある。積載が三千冊から千冊になったので「前より本が少ない。」
とのご意見がある一方、「屋内で座ってじっくり読める」と好評なご
意見もある。

○委員

- ・前と今では、利用状況の変化はあるのか。

●事務局

- ・まだ3回の巡回ではあるが、巡回毎の利用者数や貸出冊数は以前とほ
ぼ同じである。

～ 図書館主催事業の様子（写真）をスライドで説明 ～

議題（２）平成３０年度事業計画について

●事務局説明

- ・資料の４ページに基づき説明。

○委員

- ・「カルタ大会」は子どもクラブ連合会の年間行事に組み込むため来年
度は早く日程を決めていただきたい。

●事務局

- ・今月中に日程を決定して連絡したい。蔵書点検休館期間後の除籍資料
配布が済んだ１０月２２日以降の土曜日か日曜日で予定したい。

○委員

- ・移動図書館の利用促進を言われているが、いくつか重点ポイントを絞
って、例えば夏休み等に子どもの利用を増やすことはできないだろう
か。

●事務局

- ・センターには１時間半滞在するので、地区の特性に沿うソフト事業を
展開し利用増を図りたい。

	・夏休み等は子どもが地域で活動することが増えるため、センターで本を借りることができるよう検討したい。 ○委員長 ・提案や要望を、是非来年度に組み込んでいただきたい。 ○委員 ・市立全小学校の図書システム電算化に向け取り組まれているようだが、導入作業中は本の貸出ができないので、是非移動図書館を利用させたい。 ●事務局 ・学校教育課と協議して進めていきたい。 ○委員 ・公共図書館と学校との図書システムの統一化は、現在どういう状況なのか。 ●事務局 ・市立12小中学校全校の学校図書電算化と市立図書館とのネットワーク化を庁内で協議してきたが、まずは小学校のスタンドアローン型での電算化からということになった。 ○委員 ・小郡市は市立図書館・学校図書と2つあったサーバを一つにということで、図書システムの統一化を行った経緯がある。 ・図書システムの統一化には、莫大な予算がかかるから、慎重にならざるを得ないのだろう。 ●事務局 ・4年前にサンメッセ鳥栖図書コーナーと統一化した時と、利用の便を図るという考え方は学校図書も同じである。学校図書の電算化に並行して物流等の課題を整理し、できれば次々回の市立図書館システム更新に併せシステムの統一化を進めたい。 ○委員 ・図書館は本がたくさんありじっくり読めることに加え、「作文」「小論文」「受験勉強」「海外旅行」など様々な事に対応できる役割があります。近くに書店が無くなり、じっくり読むという習慣が減ってきた。身近に書店がないから図書館に行くという声を聞く。読書ボランティアや新聞を読む事も、毎週月曜日の朝10分間取り入れている。部活があるから読書する時間がないという割には、新刊本には借り手が殺到するので、図書システムの統一化が大切と考える。 ●事務局
--	---

- ・ヤング・アダルト世代の読書離れをどうにかしようと、今年度ヤング・アダルトコーナーを持ち込み学習コーナーの横に移動させた。今後もこの世代の本を手に取りたい読みたいという気持ちに応える取り組みを推進したい。

○委員長

- ・高校生になると部活に受験に忙しい。小中学校の読書量は順調に回復しているが、高校生は減少する一方と聞いている。文部科学省は大学等の推薦入学合格者に、読書活動に繋がることを何かさせるよう指導している。当校も今年から、読書して感想文を書かせるのではなく、小論文を書かせることを始めた。

○委員

- ・鳥栖の商工団地で外国人の雇用登録が六百人いると聞いた。将来、日本の人口が減少した時に外国人との協力が不可欠になると思うが、図書館には外国人向け図書はあるのか。図書館でコミュニティができないかと思う。

●事務局

- ・図書館でも外国人の姿は良く見かけるが、現在のところ外国人向けに特化したサービスはない。今後は利用しやすい環境づくりに取り組む必要がある。

○委員

- ・基山町の図書館は新築され利用者も増えたが、小学校での読み聞かせがなくなった。隣市町同士で意見交流はないのか。

●事務局

- ・三市一町でも県内でも意見交流する場がある。

議題（３）鳥栖市子ども読書活動推進計画について

●事務局説明

- ・資料の５ページに基づき説明。

○委員長

- ・「リービッチの最少律」について説明を簡単にお願いしたい。

●事務局

- ・英語、数学（算数）が１００点でも国語が５０点であれば、その子の能力は国語の５０点に影響されるという法則。

○委員

- ・計画はいつ公表するのか。

●事務局

- ・今年度中に公表する。

○委員

- ・公表して、是非再来年の事業計画に盛り込んでいただきたい。

議題（４）その他報告事項について

●事務局説明

- ・現委員の任期、次期委員の依頼方法について説明。
- ・来年度の運営協議会は、７月と２月の開催を予定している。

3 その他

○委員から持ち込み学習コーナーについての質問

4 閉 会